

令和５年度 第１回東郷町在宅医療・介護連携推進部会：議事録

日時	令和５年６月６日（月）１４時００分～１５時３０分
場所	東郷町役場３階 政策審議会室
出席者	委員 ※敬称略、順不同 松浦誠司 医師（東名古屋東郷町医師会） 松尾健生 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部） 佐藤裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会） 福島美佐子 訪問看護師（東郷町訪問看護連絡協議会） 逸見紀子 東郷町北部地域包括支援センター 荒川和枝 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑 朝倉隆行 居宅サービス関係（メドック東郷） 松山陽二 居宅介護支援事業所（介護支援もみの木） 池田寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし） 中村万季 訪問看護師（東郷町国民健康保険東郷診療所訪問看護ステーション） 早川孝志 介護支援専門員（東郷町介護支援専門員連絡会） 磯村淳子 訪問介護事業所（マリアンヌヘルパーステーション） 久田智之 理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会） 村井良則 オブザーバー（東名古屋医師会在宅医療介護総合研究センターやまびこ）
欠席者	なし
傍聴者	なし
事務局	高齢者支援課長（進行） 高齢者支援課職員 ３名
議題	１ 報告事項 （１）令和４年度の活動報告について ・地域ケア推進会議、在宅医療・介護連携推進部会 ・電子@連絡帳（レガッタネットとうごう） ・在宅ケアを考える会 in TOGO ・豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし ・認知症初期集中支援チーム（オレンジケアとうごう） ２ 議題 （１）東郷町在宅医療・介護マップ（仮）の制作スケジュールについて （２）令和５年度医療・介護フェアについて （３）令和６年度医療・介護フェアについて （４）在宅医療介護連携周知啓発 出張講座について
配布資料	次第 <u>資料１－１</u> 令和４年度 地域ケア推進会議、在宅医療介護連携推進部会報告 <u>資料１－２</u> 令和４年度 電子@連絡帳（レガッタネットとうごう）実績

資料 1－3	令和 4 年度 在宅ケアを考える会 inTOGO について
資料 1－4	2022 年度 豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」事業報告
資料 1－5	令和 4 年度認知症初期集中支援チーム 支援内容一覧
資料 2－1	在宅医療・介護マップ(仮) 制作スケジュールについて
資料 2－2	東郷町在宅医療・介護マップ発刊の広告資料
資料 2－3	東郷町在宅医療と介護マップ(案)
資料 2－4	医療と介護マップ(北部・南部)(案)
資料 2－5	東郷町在宅医療・介護マップ(仮)についての追加及び修正等調査票
資料 3－1	令和 5 年度医療・介護フェア(案)
資料 3－2	令和 6 年度医療・介護フェア(案)
資料 4－1	令和 5 年度医療と介護の専門職出張講座(案)
資料 4－2	出張講座連絡先
資料 4－3	65 歳以上のための出張講座申し込み

1 あいさつ（部会長）

2 報告事項

令和4年度の活動報告について

3 議題

（1）東郷町在宅医療・介護マップ(仮)の制作スケジュールについて

（2）令和5年度医療・介護フェアについて

●日程

令和6年2月4日（日）午後

場所：イーストプラザいこまい館 多目的室A・多目的室B

●内容

- ・丹野さんに講演していただくことに決定。
- ・岐阜の視察では講演は30分と短く、地域包括支援センターがファシリテーターをしており、丹野さんと関係のある認知症専門医が来てトークセッションをしていた。認知症の当事者同士ではやり取りが難しい部分があった。
- ・部会長と事務局にて打ち合わせをし、10月に内容を提示する。良い案があれば事務局まで相談してもらう。

〈構成案について〉

- ・3部制のため、3部は専門職が関わるとよいか。
- ・交流会については、岐阜では丹野さん含めた本人グループと別会場で家族が介護の悩みなど話せるようになっていたが、認知症の程度によってコミュニケーションの差がかなりあった。
- ・認知症の重症度によっては、スタッフを配置したり、グループ分けが必要である。
- ・若年性認知症の方も入られてよいと思う。
- ・グループ分けについては検討し、あらかたの案を提案していく。

（3）令和6年度医療・介護フェアについて

●日程

候補日：令和7年2月2日（日）午後、令和7年2月9日（日）午後

場所：いずれもイーストプラザいこまい館 多目的室A及びB

●講演内容(フェアやテーマ、方法について)

- ・令和4年度来場者の意見として、老老介護や独居などの話題がないとあった。
- ・病院との連携については需要のある部分ではないか。
- ・災害時の対応(支えあい)についての講演会がよいという意見が多数。
- ・災害について、東郷町の計画があれば紹介できるとよいが、福祉介護に特化したものとして大きいものはない。細かい部分については個々の部署で計画的なものを作っていくと思われる。

- ・災害時の対応について、まとめ方が中途半端であると、住民に余計に不安をあおってしまう心配があるため、フェアの時期までに災害の内容についてまとめられなければ難しい。
- ・災害時の対応とするなら、介護が必要な人にとっての話に特化するのか、内容を詰める必要がある。
- ・在宅、施設、病院での最期の迎え方については、現実的な部分の内容であり、施設でも看取りをやっていることも知られておらず、住民ニーズもあるか。
- ・レクリエーションのコーナーや飲食コーナー、麻雀コーナーがあると男性も興味を持つ。家族同士の交流にもなり和むかもしれない。
- ・映画はインパクトがありおもしろい。ケアマネジャーの映画があるとよい。
- ・映画は時間が長くなるので、短いものでなにかできるとよいか。
- ・次回はさらに絞り込む形で検討していく。

(4) 在宅医療介護連携周知啓発 出張講座について

- 個別に打ち合わせしていただき、相談があれば事務局まで。

3 その他

- 第2回の部会は、10月頃を予定している。日時が決まり次第連絡する。
- 次の部会までに事務局と部会長で医療・介護フェアについて調整し、10月に共有できるようにする。

以上